

多摩美術大学彫刻学科企画展

池島康輔展

木と在ること



2022

6/6 mon. >

6/30 thu.

10:00-17:00
Closed on Sundays

須佐之男命 2020, H62 × W26 × D12cm, 櫻, 個人蔵



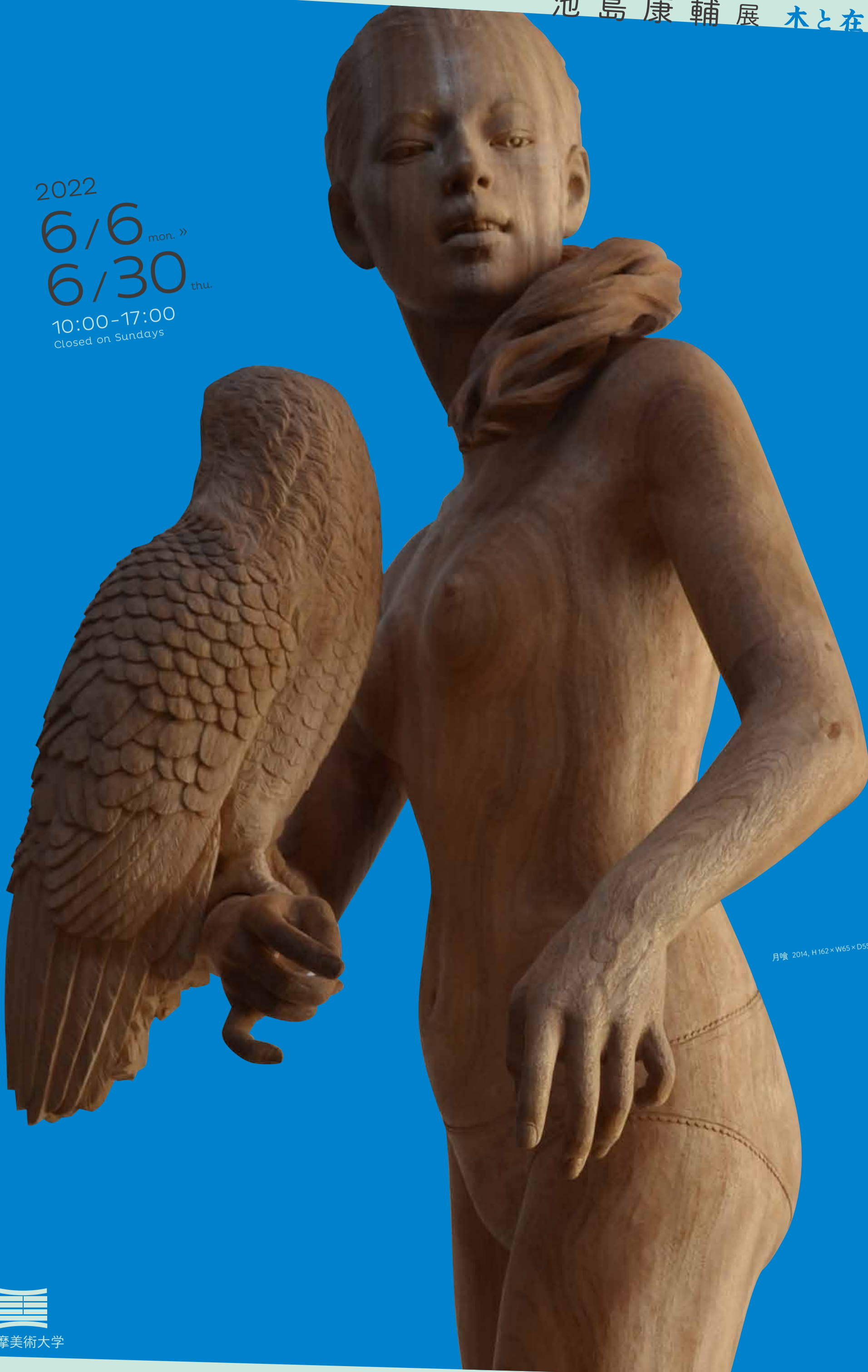
多摩美術大学

2022

6/6^{mon. >>}

6/30^{thu.}

10:00-17:00
Closed on Sundays



月喰 2014, H 162 × W 65 × D 55cm, 挿, 作家蔵





ひたすらに素材と向き合い、目の前の作品に没頭する。そんな経験があったから今がある気がする。制作していると、苦しいと感じる局面も少なくないのが本音だ。打ちひしがれる日々であって、ふと、彫刻棟のアトリエに籠って自分の信じる事に愚直に向き合っていたあの頃を思い出す。怖いもの知らずだったあの頃の感覚が、忘れてはいけない大切なマインドを再び呼び起こし、鑿を握る手に力をくれる。過ぎた時間、空気、仲間や先生方との記憶、それらが今まで何度も自分を奮い立たせてくれた。そうして彫り出された形の数々は私の手からこの場へ帰着する。(池島康輔)

池島康輔

Kosuke Ikeshima

1983年、静岡県生まれ。2008年、多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。2010年、東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。古典的な技法で人物や動物などの木彫作品を制作。日本の伝統的な木彫の系譜と西洋由来の解釈に、神話や死生観などの視点を含みつつ自身の表現との接続を試みる。宮彫に関心を寄せ、2021年、地元浜松市の華木山少林寺に宮彫を設置。個展(成山画廊、東京、2012、2014、2016、2018)。主なグループショーに、「国際木彫芸術交流展」(三義木彫博物館、台湾、2010)、「ネガ・アフター・イメージ」(アキバタマビ21、東京、2014)、「彫刻—気概と意外」(東京芸術大学大学美術館陳列館、東京、2016)、「めぐりアート静岡」(静岡県立美術館、静岡、2017)、「池島康輔 興侶優護」(成山画廊、東京、2018)、「アートフェア東京」(東京国際フォーラム、東京、2021)などがある。



池島康輔氏による特別講義

6/13 13:10 講義「彫刻—宮彫にまつわる事とその道具について」 場所=多摩美術大学レクチャーホールC
 14:50 ギャラリートーク 場所=多摩美術大学彫刻棟ギャラリー
 新型コロナウイルスの蔓延状況によっては予定を変更する可能性があります。最新の情報はウェブサイトをご覧ください sculpture.tamabi.ac.jp

- 1 翅鼓図 2018, H37.5×W72.5×D6.5cm, 櫻, 個人蔵
- 2 朝 2016, (人体) H28×W11.5×D7cm (姿見) H29.5×W8.5×D5cm, 櫻・樟, 個人蔵
- 3 水鳥香合 2020, H7×W4.8×D8.5cm, 樟, 個人蔵
- 4 須佐之男命 2020, H62×W26×D12cm, 櫻, 個人蔵
- 5 賤陋 2014, H30×W33×D13cm, 榎, 個人蔵
- 6 木花咲耶姫 2016, H163×W60×D33cm, 樟, 作家蔵
- 7 (右) # 2 2018, H6.5×W27×D11.5cm, 樟, 成山画廊蔵 (上) # 3 2018, H4.5×W25×D11cm, 櫻, 成山画廊蔵 (左下) # 4 2018, H6.5×W18×D10cm, 櫻, 成山画廊蔵
- 8 松風 2010, H40×W35×D80cm, 樟, 作家蔵

